

No. 3.
 Gōan: (210)
 Jiraiya Monogatari.
 Book 1----43.
 Vol. 1----86.

兒雷也豪傑譚 上の巻 初編

^13
 3878
 1



門へ13
3878
卷1

兒雷也
豪傑譚

上卷

榊亭作
一壽高画



泉
市
棒



このお話し

お話を

お話し

お話し



兄
音成
力
音

姉
か
須
磨
太
郎



夢
の
蝶
兵
衛

歌
妓
深
雪

松
平



龍
巻
九
郎

田
舎
順
礼
太
郎



見聞録

横梅の
松六

米問屋
富貴太郎

蝦蟇妖術
大蛇怪異

見雷七豪傑譚

美圖垣笑顔作
香蝶樓國貞画

三尺の利劍ハ箱の中と出さざとも人見と怒る雷の聲ハ百里の外へ聞えども消さず如くとよく近く假令とすよく勸善懲惡を導くんとすまへ才短くと書き難人の智慧ハかき下有骨負みきく蛇などの業ハ出来む漢の倭の古事なるとかく己まら不知火の波より下手なる梅の春の夜籠るるも自來也が推さるる説も其は是戲場の狂言類とて兒女の徒然とす

嘉永六且歲孟春新板

美圖垣笑顔誌



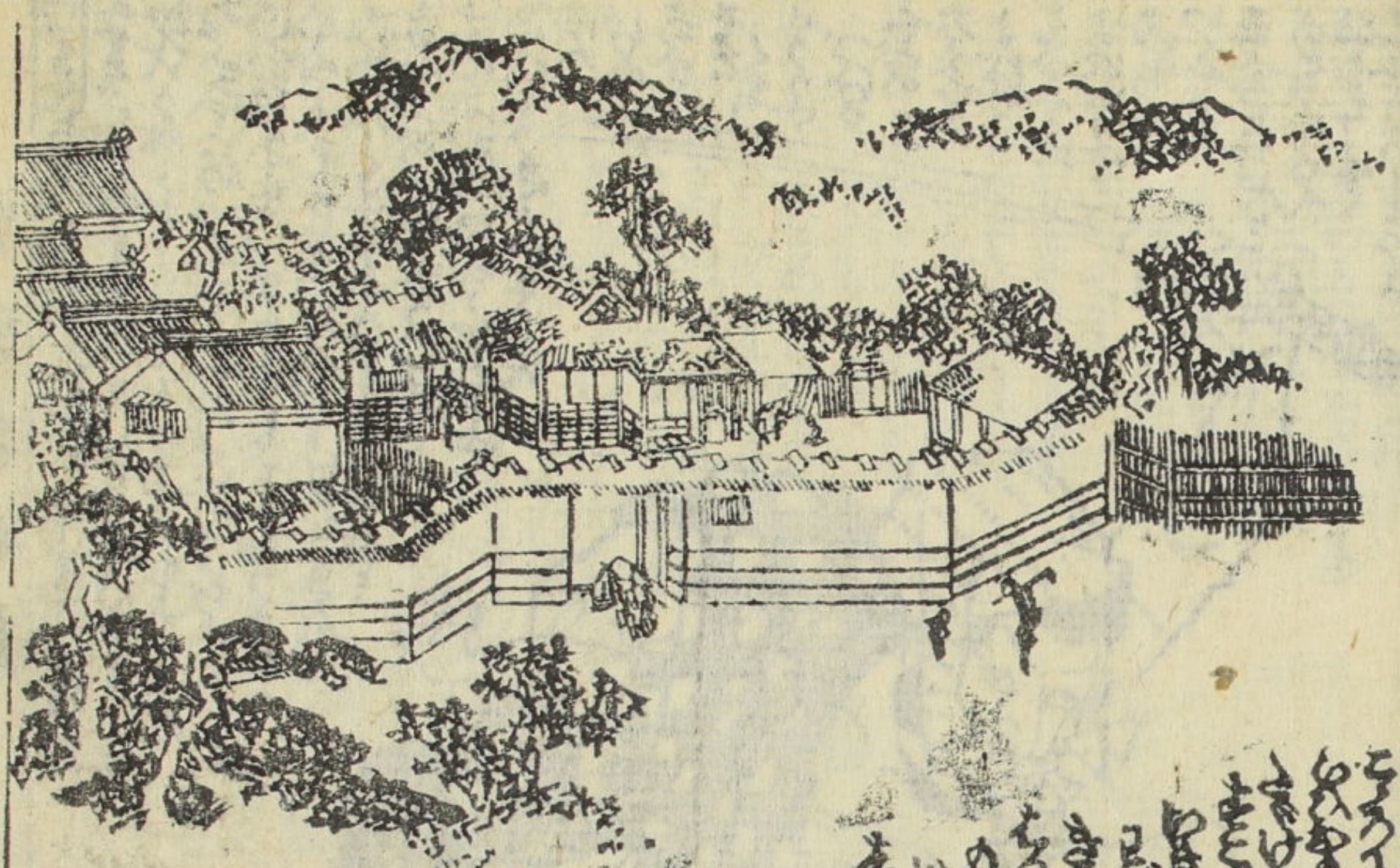
見聞録

三

Handwritten text in vertical columns, likely a chapter introduction or commentary.



Handwritten text in vertical columns, likely a chapter conclusion or commentary.



Handwritten text in vertical columns, likely a chapter introduction or commentary.





月夜物語
月夜物語
月夜物語
月夜物語
月夜物語



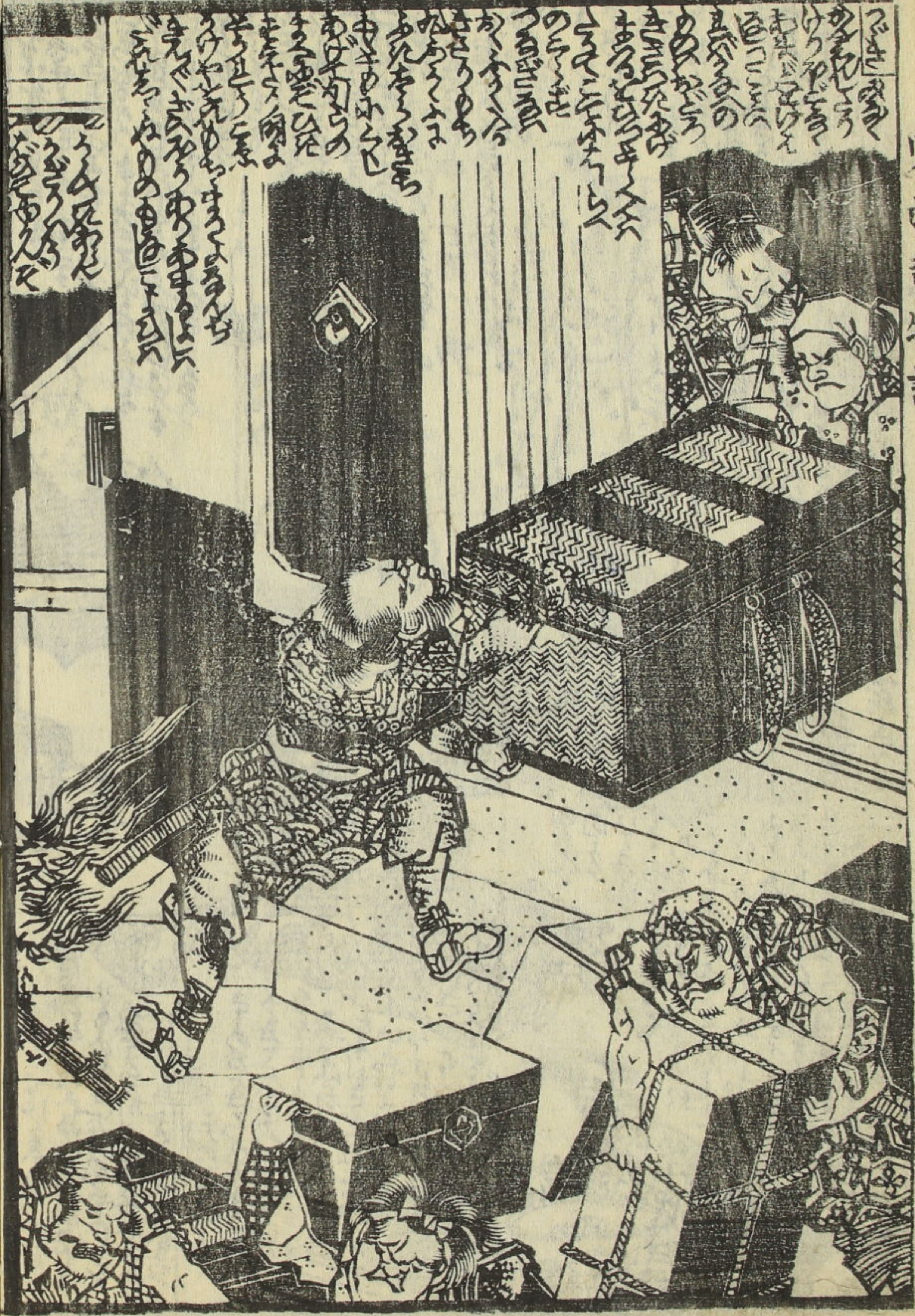
月夜物語
月夜物語
月夜物語
月夜物語
月夜物語

月夜物語
月夜物語
月夜物語
月夜物語
月夜物語



此の如く
 阿彌陀の
 御名を
 念ふは
 無量の
 罪を
 滅す
 といふ
 事
 然れども
 此の如く
 念ふは
 無量の
 功徳を
 得ん
 といふ
 事
 然れども
 此の如く
 念ふは
 無量の
 罪を
 滅す
 といふ
 事

此の如く
 念ふは
 無量の
 罪を
 滅す
 といふ
 事



此の如く
 念ふは
 無量の
 罪を
 滅す
 といふ
 事
 然れども
 此の如く
 念ふは
 無量の
 功徳を
 得ん
 といふ
 事
 然れども
 此の如く
 念ふは
 無量の
 罪を
 滅す
 といふ
 事

豐國畫笑顏著種員校合



一 兎雷也豪傑譚

四拾七篇

二 休草紙

拾五篇

一 風俗淺間嶽

拾四篇

一 黃金水大盡盃

拾七篇

書肆
地本問屋

芝神明前
和泉屋
市兵衛

銀座四丁目
同文店

